

スマイルまなづる 152号

真鶴町立まなづる小学校
令和7年度学校だより
5月13日(火)

学校教育目標

「考える 関わる 創りだす」

～自分で考え 仲間と考え 創りだしたり解決したりする子の育成～



開校 20 周年記念特集① ～開校 20 周年記念会～

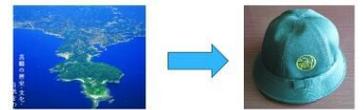
5月1日はまなづる小学校の開校記念日でした。そして、今年度は開校から20年になります。区切りの年ということで、教育長さんをはじめ、教育委員会関係者、学校運営協議会委員の皆様をお招きし、開校20周年を祝う会を開催しました。

児童代表の6年生は、「まなづる小に来ると元気になります」という内容の作文を発表し、教育長さんからは、開校当時の6年生の卒業文集から、「統合してよかった」という2つの作文を紹介してもらいました。

校長の話では、まなづる小開校の歴史を振り返る中で、緑色の校帽についての話をしました。統合前の2校の校帽は、岩小は紺色、真鶴小はえんじ色でした。それがなぜ緑色になったのか。調べた結果、明確な答えは分かりませんでした。ゆかりのある方々に聞いたところ、写真にあるように、真鶴半島の緑をイメージしたのではないかという答えが多かったです。もう一つは体育館にある校歌板の話をしました。写真にあるように、開校当時の児童と教職員で、彫刻刀を使って一文字一文字彫った字を組み合わせて作りました。手作りの校歌板であることを知った子どもたちはとても驚いていました。

ハッピー委員会をはじめ、子どもたちも20周年の記念すべき年を意識した取組を考えているようです。どんな取組が行われるのか楽しみです。

みどりのごぼう さんじょうひわ 緑の校帽 誕生秘話



真鶴半島の緑をイメージ

ごうかばん かんせいひわ 校歌板 完成秘話



当時の子供たち、先生たちで、一文字一文字、彫刻刀で彫りました。

開校 20 周年記念特集② ～航空写真撮影～

4月24日には20周年記念の航空記念写真の撮影を行いました。オレンジ、青、白、黄の紙を頭上に置き、子どもたちと教職員、教育委員会の皆さんにも参加してもらい、三ツ石と朝陽を表現しました。出来上がりが楽しみです。出来上がったものはクリアファイルとして子どもたちに配布する予定です。ちなみに、10周年では校章を表現しました。



表現した三ツ石と朝陽

汐風文庫（しおかぜぶんこ）のお知らせ

昨年度、まなづる小、真鶴中の児童・生徒の皆さんの図書整備に活用してほしいと寄付がありました。その一部を使い、約200冊の本とブックトラックを購入しました。これらの寄贈図書には「汐風文庫」という名前が付けられ、シールが貼付されています。

「汐風」は「海や海岸近くを吹く風」のことです。真鶴の豊かな自然の中で「まなづるっ子が心豊かに育ってほしい」という寄贈された方の願いが込められています。ぜひ、本を手にとって本の魅力、おもしろさを感じてください。



汐風文庫シール